

## ○玉名市地球温暖化対策実行計画 令和4年度進捗状況

### 1 温室効果ガス総排出量の比較

本市の事務事業における2022年度(令和4年度)の温室効果ガス総排出量は、基準年度となる2013年度(平成25年度)と比較して、37.0%の減となりました。

※基準年度と直近3か年の推移

| 年度                        | 2013   | — | 2020   | 2021   | 2022   |
|---------------------------|--------|---|--------|--------|--------|
| 排出量(t-CO <sub>2</sub> )   | 14,003 | — | 7,971  | 6,811  | 8,815  |
| 目標排出量(t-CO <sub>2</sub> ) | -      | — | 9,811  | 9,285  | 9,097  |
| 増減率(2013年度比)              | -      | — | -43.1% | -51.4% | -37.0% |

### 2 電気・その他エネルギー別使用量の比較

電気やその他のエネルギーの使用状況は、以下のとおりです。

※基準年度との比較

| 項目(単位)                   | 2013年度     | 2022年度     | 増減量         | 増減率    |
|--------------------------|------------|------------|-------------|--------|
| 電気使用量(KWh)               | 18,711,939 | 16,770,355 | △ 1,941,584 | -10.4% |
| ガソリン使用量(ℓ)               | 60,364     | 54,919     | △ 5,445     | -9.0%  |
| 灯油使用量(ℓ)                 | 267,459    | 206,503    | △ 60,956    | -22.8% |
| 軽油使用量(ℓ)                 | 9,275      | 3,525      | △ 5,750     | -62.0% |
| A重油使用量(ℓ)                | 425,201    | 377,080    | △ 48,121    | -11.3% |
| LPガス使用量(m <sup>3</sup> ) | 30,934     | 11,918     | △ 19,016    | -61.5% |

### 3 温室効果ガス総排出量減の主な理由

温室効果ガス排出量は全体としては大きく増加していますが、主な要因は排出量の大部分を占める電気使用において温室効果ガス排出係数が大きく上昇したことにより排出量が増加したものです。実際の活動量については、上下水道や灌漑設備等インフラ関係の電力消費量の削減があったものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設閉館措置の緩和により開館日が例年と変わらないくらいに増えたことや換気しながらの空調使用などのため、電気使用量は前年度と同程度となっております。

### 4 今後の課題等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気しながらの空調使用などが継続しており、電気使用量を減らすためには、空調等の使用方法の見直しや設備機器の更新(高効率機器への変更等)が必要になると考えられます。

また、温泉施設等における重油等燃料を大量に使用する機器について、高効率の機器の導入や燃料を使用しない電気設備等への更新も検討が求められます。

さらに、公用車については、買い替え等の際にはEV車(電気自動車)を初めとするエコカーの導入の積極的な検討を進めていきます。